



# 『智頭らしい福祉のまちづくり』を共に考える

第6回（令和4年度第1回）暮らしを考える会を開催しました。



## 暮らしを考える会とは

『智頭らしい福祉のまちづくり』を推進するために、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんと行政が解決策について共に検討する機会として、平成30年度以降、地区ごとに開催しています。

## 第6回の概要

（6地区ー34人参加）

- ① 本町の介護・福祉の現状と今後の展開、介護予防の考え方などについての説明
- ② 令和2・3年度に実施した「健康とくらしの調査」の分析結果報告
- ③ 『豊かな暮らしを叶えるために必要なこと』を考えるワークショップ



### ① 皆さんにお伝えしたこと

☑ これからの介護予防は、すべての高齢者を対象として、社会参加と、そのための居場所づくりや支え合いの体制づくりを進めることが求められている。

◎ 本町は、ミニデイやサロン等の通いの場が充実。このことで要介護認定率が低く抑えられていると予想。

☑ 誰もが加齢とともに、できにくくなるが増え、支援を受ける側の立場になることは避けられないが、困ったときに自分から周囲に支援を求められる人は約3%。逆に、求められれば支援するという人は約97%。

◎ 「助けて」は言えないが、助けてい気持ちはある。「助けて」と言いやすい環境づくり、支援する側・される側をつなぐ仕組みづくりが必要。



### ② 健康とくらしの調査の分析結果

- ・ 地区ごとに、よい点・悪い点が異なり、特徴が現れている。
- ・ 令和2年度以降、コロナ禍の影響を受け、数値の悪化した項目が増加。

### ③ 豊かな暮らしを考えるワークショップ

- ・ 豊かな暮らし、続けたい暮らしを考え、それを叶えるために必要となる取組を、「自分・家族」「集落・地区」「町全体」に分けて共有。（結果は次回の特マへ）